

第1号議案：平成29年度事業報告に関する件

1. 概要（理事長：長谷川 演）

視野を広げJCD及び業界全体を俯瞰して見る。日本のデザイン界におけるJCDの役割を考え、大局的に進む方向を見定めるというスタートの一年。

良い成果へ向かったと思います。

その表れがデザインセンターへの引っ越しともなり、新地で更なるモチベーションを持ち、様々な形、コトを発信するベースも得られました。

毎年懸念される会員数も他の各団体、協会のメンバーが減少・激減する中、

JCDは昨年をキープし、活動の質と量の豊かさを物語っています。

各事業も地に根を伸ばしつつ、更なる上へ、新しいコトへチャレンジの見える、成果ある一年となりました。

2. 各事業の報告

(1) 事業部（部長：窪田 茂）

（委員長会議議長：大滝道晴）

① デザイン賞委員会（委員長：笠原英里子）

■JCD デザインアワード2017

JCD デザインアワード2017は、過去史上最多、初の600点越えとなる618点の応募総数を獲得することができた。

一般応募数415点、会員応募数94点、海外応募数109点という内訳で国内応募が激増した。JCD デザインアワードの応募数がここ3年512点、528点、618点と年々増加の傾向を辿っていることを考えると、アワードの価値がより認知されてきているということが言える。

国別では台湾から85点、香港から11点、中国から14点、シンガポールから1点となっており、グローバル化の傾向も依然進んでいる。

部門は昨年同様6部門に別け、インターネットによって作品を募集。

一次審査は審査員27名のネット審査によってBEST100の作品110点を選出。二次審査は7月1日東京デザインセンターにて公開審査で行われた。審査委員長橋本夕紀夫、青木淳、五十嵐太郎、グエナエル・ニコラ、小坂竜、鈴木重千代、武石正宣、谷尻誠、Horace Pan、森田恭通10名の諸氏にお願いした。

まずBEST100から銀賞以上23作品を部門別に出、そのなかからさらに金賞以上6作品を選んだ。金賞6点を決める段階で意見がぶつかり合い、絞り込みの白熱した議論が続い

たが、それに引き換え大賞は中村竜治氏の「JINS 京都寺町通店」にすんなりと決定した点が対照的である。

贈賞式は2016年11月10日明治記念館で執り行われた。引き続き行われたデザインメッセージでは中村竜治氏、渡部隆氏、橋本夕紀夫氏の3名でトークセッションを行い、終了後は出席者全員での立食パーティー交流会を行っている。贈賞式へは約170名の参加があり、年々格式ある贈賞式になってきている。

■JCD+DSAアワード統合

2016年9月29日より両協会のデザイン賞委員でデザイン賞検討委員会を立ち上げ、約一年の間新アワードの概要を検討してきた。

2017年9月までに三役に2回中間報告を行い、検討内容について三役の承認を得ている。たたき台の概要作成を受けて、2017年10月30日より両協会の三役合同調整会議が足登。両協会とも設立実行を合意し、開始時期を2019年4月とした。

新アワードのプレスリリースは2018年のアワード審査が終了した2018年7月に計画している。

新アワードの概要は前もってJCD事務局より配布された資料にすべてが網羅されている。新アワードの名称は「日本空間デザイン賞/JAPAN KUKAN DESIGN AWARD」と決定した。

② Soda 委員会（委員長：新藤 力）

1. 2015年の9月頃より議論を始め編纂を進めてきた「Soda/子どもたちと創るデザイン」を5/8入稿、5月27日の沖縄総会でお披露目いたしました。JCDの社会貢献活動の周知に貢献できるものと考えています。これを記念して7/4(火)東京ミッドタウンリエゾンセンターにて「出版記念パーティー」を開催。いつも活動にご理解とご協力をいただいているJCD会員・賛助会員の皆様、教育関係者・関連団体の皆様にもご参加いただき、子どもたちの“創造性”を真ん中に笑顔がいっぱいの宴になりました。これを機に、惜しみなくご協力いただいている賛助会員の皆様に、委員会から感謝状を授与させていただきました。
2. 6/19(月)、建築会館ホールで開催された(一社)日本建築学会が主催する「子ども教育支援 建築会議全体会議・シンポジウム」において登壇しJCD・Soda委員会の活動報告をいたしました。全国で様々な活動が実施されており、多くの実践者からのお声掛けに勇気をいただきました。同時に会場にてSoda本の販売をさせていただきました。
3. 7/28(金)から開催の「六行会チルドレンズフェスティバル 2017」においては品川学園の美術部員を中心とした中学生有志による“チルフエスの広告モニュメント制作”の指導・お手伝いをいたしました。事前協議・制作を放課後5回の活動で行い、華やかなエントランス空間の演出が出来上がりました。
4. 8/11(木・祝)、東京ミッドタウン“キッズウィーク 2017”において「夏休み!親子 de わくわくワークショップ」を開催。低学年の多い16組の親子が、空を飛べる“つばさ”を売

るお店など、それぞれユニークな作品を完成し持ち帰りました。DSAからも講師として2名参加、お互いの活動協力と交流を図っています。ワークショップの後は「Soda 夏の夕涼み会」を明治神宮外苑“森のビアガーデン”で開催いたしました。

5. 10/11(水)、名古屋市立松原小学校にて中部支部初となるワークショップを開催(6年生31名対象)。ジェットコースターのようにお寿司が上に行ったり下に行ったりする回転寿司など独創的な6作品が完成いたしました。完成した作品は10/14(土)の参観日に子供たちが発表し、11月の学習発表会でも展示公開されました。他校関係者も参観され、中部支部での持続的な開催の良いスタートとなりました。
6. 11/1(水)、神奈川県相模原市立鹿島台小学校で出前授業を開催(6年生92名対象)。クラスでテーマを決め、さらに4~7名のグループでサブテーマを決めた上で1人1作品を制作、総合化するという新たなチャレンジでした。四季のイベント、TVスタジオ、学校の教室といったこれまでにないテーマが多く、子供たちの発想と協調する力に感銘いたしました。
7. 11/3(金・祝)、品川区立杜松(としょう)ホーム体育館にて、品川区青少年委員会主催の「親子でつくろう、ダンボールアート~秘密基地をつくろう~」を開催。小学生親子32家族87名が参加。中に入れるお城やツリーハウス、白亜紀のテラノザウルスの家、海賊船など思い思いの秘密基地が完成しました。
8. 11/4(土)5(日)、昨年度に続きGOOD DESIGN EXHIBITION 2017にて屋台型ワークショップ「ポップアップカードを作ろう!~お店・お家~」を開催。今回は会場が日本デザイン振興会のロビーでの開催となり来場者数が心配でしたが、2日間で昨年度よりも多い43組71名(2歳~60代)の方に参加していただきました。
9. 年が明けて1/26(金)、昨年に続き東北支部主催で石巻市立須江小学校にて出前授業を開催(4年生49名対象)。車椅子スポーツ店など障害者に優しく思いやりのあるテーマが多く、わかば学級さんの2人も先生と滑り台やブランコのあるカフェを完成してくれました。竹フィラメントのエジソンランプに手をかざして「電球が暖かい!」と言った子どもたちが印象的でした。
10. 2/11(日)、東京ミッドタウン・冬のワークショップウィークにて、大人の工作「わたしのあかりを作ろう!」を開催。初めての大人向けワークショップで、いろいろな素材を使って自由に手あかりを作る、難易度の高い新たなプログラムです。現役の美術の先生・IT企業のOLさんなど6名が参加、動機は様々ですが皆さん仲良くなりコミュニケーション密度の濃いワークショップとなりました。大人対象の場合集客が難しいということがわかり、次回は小学生高学年親子や中高生など、募集対象を広げたいと考えています。
11. 2/14(火)、沖縄支部主催で西原町立西原東小学校にて出前授業「ドリームショップを作ろう!!」を開催(6年生76名対象)。2/3が女の子であることからネコカフェ・スイーツランド・ペットショップといったテーマが目を引く中、ホテルという沖縄らしいテーマが印象的でした。また、インテリアコーディネーター協会・インテリア産業協会からも12名が参加。団体の枠を超えた取り組みとなりました。地域コーディネーターさんからは沖

縄菓子アガラサーやサーターアンダギーなどの差し入れも。

12. 2/23(金)、定点化している杉並区立浜田山小学校にて出前授業開催(6年生129名対象)。

例年リアリティーのある作品が多い学校ですが、今年は、超人ドリンクのカフェ・恐怖の珍味屋・自分のクローンを作ってくれる「クローン・ウォーズ」・この世に無いものを売る「異次元屋」など夢のある個性的な作品が目立ちました。

北海道支部では桑園小学校での活動、関西支部では大阪市住まい情報センターとのタイアップ事業、九州支部ではデザインスクールキャラバンの取り組みを継続的に実施されています。2017年度も延べ200名以上のJCD正会員・賛助会員の皆様の、活動へのご参加がございました。今後とも全国での継続的な活動を目しておりますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

③シンポジウム委員会（委員長：窪田 茂）

■SECTION59の開催

2017年10月24日 SECTION59を開催致しました。

ファッションデザイナーで、ミナペルホネンというブランドを展開されている皆川明さんにご登壇頂きました。皆川さんの服づくりは、生地デザインから始まり、ひとつひとつ丁寧に洋服をつくっていくような、現代とは違うアプローチで仕事をされています。また店舗のデザインは、私たちデザイナーが刺激を受けるような、オリジナリティ溢れる店舗をデザインやられております。皆川さんの話は、出店場所の選び方や店舗スタッフの採用の話、地域の人たちとのコミュニケーションの仕方など多岐にわたり、皆川さんの人柄の良さを感じられる素晴らしいシンポジウムとなりました。

会場は東京デザインセンターで開催し、200人を超える人が集まり、デザイナー以外のファッション系の方や、皆川さんのファンも集まり、JCDの認知に繋がったと思います。

また、協賛も沢山頂きましたので、収支としては黒字となりました。

シンポジウムの開催は、夏頃を目標にしておりましたが、皆川さんのスケジュール調整の結果、10月開催となりました。次回は8~9月頃の開催を目指したいと思います。

④広報委員会（委員長：飯島直樹）

JCDとインテリア系団体との、新たな関係作りの窓口役を担った。

- 1) IDM (INTERIOR DESIGN MEETING 約21団体が参加するデザイン発信プログラム)の発起に参加し、6時間350名参加のセミナー+懇親イベントを開催した/2017/11/16@東京デザインセンター。
- 2) 空間デザイン機構発足12年、500名参加のシンポジウム+業界集結パーティの企画実行に参加した/2018/02/14@東京ドーム
- 3) JCD本部事務所移転(東京デザインセンター5階)に伴い、同居団体(JIPA、IALD/J)と東京デザインセンターとの共同プログラム作りに参加

した。隣接するオープンスペース（crafTec ギャラリー）を活用した、空間デザイン発信の拠点作りを目指す。

⑤国際委員会（委員長：武石正宣）

今年度も APSDA のアライアンスから、アソシエーションに移行する調整へのやりとりの年度でしたが、今までの会議の内容から、メールでの参加にいたしました。正式な会則の設定など、最終段階になっています。

また EG の開催がシンガポールで行われ、East Gathering 2018 in Singapore。

「Environment」「Relationship」「Inspiration」「Culture」「Process」について代表のスピーカーが 20 分、その後各国代表が 5 分ずつショートメッセージを行う形式で進行されました。

「Environment」は、香港の CM Jao & ken Cheung さんが、その後日本代表のパーシモンヒルズアーキテクツの廣岡さんと柿木さんが環境と建築の関連性のショートメッセージを。

「Relationship」は、William Lim さんがスピーカーで折原がデザインの領域と成功する店づくりとの関係性を。

「Inspiration」のスピーカーは、小坂竜副理事長が自身のインスピレーションの引き出しと実際の物件との例を見せながら紹介。

また「Culture」は、In Hark Park さんがスピーカーで、ショートメッセージは高橋恵さんが北海道の特異な文化を話し、

最後は「Process」、スピーカーは Johnny Chiu さん。

トリのショートメッセージは、JCD デザインアワードで金賞を獲った、家所亮二さんが「ニクノトリコ」のデザインプロセスについて説明してくれました。

⑥賛助委員会（委員長：森川 一）

1. 賛助委員会は今年大きなテーマとして今後のプロダクト オブ ザ イヤーをどうするか、という問題に取り組んで参りました。

現在プロダクト オブ ザ イヤーは名前の通りその年の優れたプロダクトを JCD の会員様に選んで頂き、JCD 会員様には新しいプロダクトの認知、賛助企業に対しては JCD 会員様への広告という形でお互い WIN WIN になれる企画として 12 年続いているものです。

この企画も年を重ね、参加する賛助の業務形態も多岐に渡り本来のみんなが WIN WIN というところから離れつつ有ります。

この点を是正すべく今まで PANASONIC TOTO DAIKO で進めてきたこの企画をもう少しオープンにしてみんなが WIN WIN になれるようにするため、メンバーを 11 名増やし 13 名へ増強し大滝様 永井様 品川様のお力を御借りし来期に形態を変えた新たなプロダクトオブザイヤーにするための検討を進めてまいりました。来期はこの検討結果をもとに、新しいプロダクト オブ ザ イヤーを開催します。

2. 「JCD Product of the year 2018」の実施。

今年もプロダクトオブザイヤーは例年通りおこないました。

昨年は賛助会社 15 社から 25 点の応募をいただき、正会員 174 名から投票がありました。

今年は現時点で 20 社から 35 点の応募がありました。

このプロダクトオブザイヤーを通して例年になく一体感を持った賛助委員同士の交流が図られました。

各支部単位での相互コミュニケーション実施のためのサポートは引き続き行ない、最新情報での各賛助会員の本部・各支部の連絡者名簿のメンテナンスを随時実施しました。

⑦空間委員会（委員長：鹿目久美子）

1. 空間委員会

空間デザイン機構発足 12 年（SDA・DSA・JCD・NDF）

「THE DAY」開催 2018 年 2 月 15 日@東京ドームシティ「ギャラリーアーモ」

・15:00 シンポジウム基調講演 内藤 廣「再生する渋谷」 参加者 438 名

大井 篤 「何がこれからの時代に求められるか」

パネルディスカッション「空間デザインの価値とその将来構想」

モデレーター 五十嵐太郎

パネリスト 井上成・廣村正彬・橋本夕紀夫・山本尚美

・19:00 懇親パーティー 齊藤上太郎・津軽三味線 疾風・DJ Namy

NGT48

参加者 286 名

■収入合計 4,705,000 円

■支出合計 5,954,531 円（推定 2,000 万円）

■収支結果 △1,249,531 円

2. 年鑑刊行委員会

「年鑑日本の空間デザイン 2018」 2017 年 12 月 8 日発行

・最後となる JCD アワードについて、いままでの経過や多くの審査員たち、変化してきた理由などをレポートする。

・ブックデザインは中野豪雄

⑧交流委員会（委員長：折原美紀）

交流委員会発足後、内山敬子氏、吉田愛氏を副委員長になって頂き、活動の一つとして「女子会」を開催することにした。女性であれば正会員、賛助会員ならずとも JCD そのものやデザインの仕事に興味がある方なら事前に本部に参加表明していただければ誰でも参加出来る形式を取った。

第一回目は 9 月 22 日 社食堂にて開催。参加数 21 人。

第二回目は11月17日 社食堂にて開催。参加人数15人。

「社食堂」で定期的に行われているアーティストなどの展示やポップアップショップもあり、ちょっとしたアート体験などと普段体験できないことも織り交ぜながら終始和やかな雰囲気です。

第三回目は3月末の予定。

(2) 支部統括部 (部長：小坂 竜)

(支部長会議議長：加藤博正)

平成29年度支部長会議は、平成29年11月11日にJCD事務局にて各支部長が参加して行われた。

今年のテーマは、「売れる店の商環境デザイン」、各支部から会議に先立ちテーマに沿った意見を事前に事務局にお送り願った、各支部に意見をまとめて報告されたが、関東支部は別に3名の会員から意見が報告された。

各支部の意見として多かったのは、内装デザインだけでなく、ポップ、メニューなどのグラフィック、制服や食器のコーディネート、接客など全般的な相談にも載っている事が多いようである。

この報告書は、理事会で配布され、全国の生の意見が理事に報告されこれからのデザイン活動の参考になったと思われる。

① 北海道支部 (支部長：高橋 恵)

平成29年度の事業方針

「デザインにおける社会貢献を軸に、参加してもらえる活動づくり」

運営会議

【概要】正会員同士の交流と北海道支部の活動について議論を行う。

【日程】基本 隔月 第一水曜日に開催しました。

北海道支部総会

【概要】平成28年度活動及び収支報告、平成29年度活動計画、予算(案)承認など

【日程】平成29年5月10日 センチュリーロイヤルホテルにて

IFDA 2017 カンディハウスバスツアーへの参加

【日程】6月21日

【メイン会場】旭川 IFDA 会場他

【概要】IFDA 2017開催中のカンディーハウスさん主催のバスツアーにJCD北海道で参加
カンディーハウスファクトリー、アルフレックスのファクトリー、IFDAパーティーに参加
総勢11名での参加でした。普段見られない家具のファクトリーへバスでまわっていただけるので良かったとの声が多かったです。

運営会議+支部交流会

【日程】10月3日

支部会員候補を集める目的で、若手デザイナーたちに飲み会を企画してもらいました。
17名の参加がありました。

若手デザイナーの質問コーナー等もあり、大変盛り上がりました。

関東支部研修旅行の懇親会

【日程】10月16日

関東支部の研修旅行が今年は、北海道ということで北海道支部との懇親会の時間を作って頂き、北海道支部会員、賛助会員総勢11名と関東支部の方9名とで懇親会を開きました。北海道の海産物を楽しんでもらいながらの交流で大変盛り上がりました。二次会は、椿サロンへ移り遅くまで交流をさせて頂きました。

3団体パネル展+第4回JCD北海道支部デザインアワード

【日程】11月22日～11月26日

【会場】ORORI BISSE大通ビッセ イベントスペース

21点の応募を頂き、さらには3団体のパネル展も開催する事でJCDのことを知って頂く良い機会になりました。今回は飯島さん、小坂さん、折原さん、吉田さんに審査をして頂きました。

表彰式には折原さんと吉田さんに来て頂き、表彰式後ミニセミナーも開催しました。

その後懇親会も開催し北海道支部の会員また作品応募者との交流をして頂きました。

Soda 桑園小学校

【概要】デザインを通しての社会活動。おみせづくりをテーマに自由にデザイン作業に取り組み。専門家が講評・評価し、子供達に新たな発見や発想の機会を見いださせる。

【日程】一回目 12月1日 二回目 12月7日 三回目 12月19日

【会場】桑園小学校 札幌市中央区北8条西17丁目

【対象】6年生134名 16チーム

【講師】JCD会員6名 賛助会員2名 ボランティア2名 その他素材ご提供企業多数

【成果】デザイン、仕事の楽しさを伝え、店舗の模型制作を通して楽しく作業してもらいました。プレゼンの大切さも理解してもらい。プレゼンテーションにも凝って発表してくれました。今年の生徒は、手際もよく出来上がった模型も素晴らしかったです。

クリスマスパーティー

【日程】12月12日(火)

【参加人数】70名程度

【会場】椿サロン 札幌市中央区

【成果】毎年JCDとHIPA北海道インテリアプランナー協会との合同の恒例の行事ですが今年も、HICA北海道インテリアコーディネーター協会とHAD北海道デザイン協議会も参加して頂き4団体合同で行いました。

参加者の方々にプレゼントを持参して頂き、プレゼント交換をする等

クリスマスらしい雰囲気もでて盛り上がるクリスマスパーティーになりました。

年に一度、おしゃれをしてデザイン業界の方々が集まり盛り上がる会になり、

今後も続いてくれたらと思っています。

鍋塾

【日程】2月9日（金）

【参加人数】19名

【会場】十六夜 札幌市中央区

【成果】昨年に行えなかった鍋塾を新入会委員の方も数名増えたので今年は開催しました。

鍋を囲みながらデザイン談義を繰り広げるといふ会の主旨にそった懇親を深める良い会になりました。

② 東北支部（支部長：大塚真司）

●第1回東北支部役員会議

【日程】平成29年4月6日

【出席人数】支部役員6名 事務局1名

●Soda 活動小学校打診

・29年度内の開催予定小学校へ打合せ・JCD活動主旨説明

【日程】平成29年4月26日

【場所】石巻市立須江小学校

【参加者】東北支部 佐藤浩幸正会員

●東北支部青森地区懇親会

青森地区長はじめ会員との懇親及びJCDへの新規勧誘

・懇親会を通じ新規正会員2名。賛助会員1社。

【日程】平成29年6月1日

【場所】青森県青森市

【出席人数】支部長大塚・宮城地区佐藤・岩手地区浅川・青森地区成田・伊藤・岡本
鹿内 等14名

●東北支部通常総会

・岩手地区にて通常総会開催

・総会后、紫波町「オガールプラザ(株)」代表取締役 岡崎正信氏講演会

【日程】平成29年6月27日

【場所】岩手県公会堂

【出席人数】正会員、賛助会員 計34名

●懇親ゴルフコンペ及び盛岡お散歩会

・岩手県内にて総会翌日に懇親ゴルフコンペ開催

・盛岡市内及び紫波町オガールプラザ視察

【日程】平成29年6月28日

【場所】雫石ゴルフ場・盛岡市内

【出席人数】ゴルフコンペ12名・盛岡お散歩会4名

●ビアパーティー及び宮城県ディスプレイ協会懇親会

・全国賛助会員「桐山製作所」商品 PR 会

・ビアパーティー開催

【日程】平成 29 年 8 月 9 日

【場所】商品 PR 会：仙台市広瀬通東武ビル 懇親会仙台市内

【出席人数】正会員・賛助会員 26 名 宮城県ディスプレイ協会 佐藤理事長・
安達専務理事

●Soda ワークショップ開催小学校打合せ

・Soda 詳細説明及び開催日、開催場所の決定（2018 年 1 月 26 日開催）

【日程】平成 29 年 10 月 20 日

【場所】石巻市立須江小学校

【出席人数】大塚支部長 佐藤浩幸正会員 事務局

●デザインセミナー（主催：株式会社アリア 共催 JCD 東北支部）

・飯島直樹氏デザインセミナー開催

【日程】平成 29 年 11 月 7 日

【場所】仙台パークビル

【出席人数】東北支部正会員、賛助会員 20 名参加

●Soda ワークショップ

・石巻市立須江小学校 4 年生 49 名を対象に開催

【日程】平成 29 年 1 月 26 日

【場所】石巻市立須江小学校

【出席人数】東北支部 12 名 関東支部 6 名

③関東支部（支部長：小田秀樹）

*** 関東支部の広報と各委員会活動への正会員・支部会員の参加を促進する**

今期は、関東支部のホームページ・Face book のクイックな更新を行ない、支部の委員会活動に正会員・支部会員の参加を促進し、JCD の活動を一般の方や学生に広報を行なう。

■研究セミナー委員会：福田裕治委員長、石橋美幸副委員長、下村牧子委員

「2017 年度とくトーク」今年度は 5 回を開催

- 1) 6 月 30 日「藤川正夫」氏によるトーク「まねず、常に挑戦を」
- 2) 7 月 6 日 「中村茂雄」氏によるプチトーク「誰でも簡単、自分で制作ホームページ」
- 3) 9 月 21 日「森井良幸」氏によるトーク「マカロンから超高層ビルまで」
- 4) 1 月 26 日「木ノ内憲子」さんによるトーク「木ノ内憲子の世界」
- 5) 3 月 23 日「中村竜治」氏によるトーク「JCD デザインアワード 2017 グランプリ」

**■支部賛助委員会：品川正之委員長、奥弘史副委員長、原康喜副委員長、藤原巧副委員長
本間克典副委員長**

- 1) ほぼ月 1 回（4/14, 5/9, 6/13, 7/18, 9/12, 10/2, 2/5, 3/13）の定例委員会を開催し、JCD 正

会員、賛助会員相互の向上のための意見交換を行った。

- 2) 2月の定例委員会は全国賛助委員会と合同とし委員会相互及び正会員との交流を図った。
- 3) 賛助会員相互の親睦のためボーリング大会2回(4/7, 6/23)、5月20日(土)中津川マ釣り場のBBQ大会、8月18日(金)熱海海上花火見物会を催した。
- 4) 広報委員会と連携して、関東支部機関紙に賛助会員企業の紹介記事を掲載した。
- 5) 全国賛助委員会にオブザーバーとして関東支部賛助委員長及び賛助会員数名が参加した。

■広報委員会：古川紳太委員長、大滝道晴副委員長

- 1) 広報委員会では本年度は3回出版物を出し、すでに二回発行し、残り3月末発行予定

- 2) 一回目(7月末発行)

総会特集・とくトーク・プロダクトアワード・SODA委員会報告・あのことろ・新人会員紹介など

- 3) 二回目 夏/秋号(11月末発行)

とくトーク・会員の近況・クラブ活動報告・あのことろ～JCDの重鎮・夏のパーティー報告
・SODA委員会報告・賛助会員活動報告・新人会員紹介など

- 4) 三回目 冬/春号(3月中発行予定)

とくトーク(木之内氏)・会員の近況(佐藤しげる氏)・あのことろ～JCDの重鎮(朴仁沢氏)
・冬のパーティー報告(雲野一鮮氏)・SODA委員会報告(担当者)・新人会員・準会員紹介
・賛助委員広告枠など

■メディア委員会：水谷晶人委員長、中村茂雄副委員

- 1) デザインを一新した「JCD関東支部ホームページ」の調整を行うことで

JCD関東の活動及び情報を分かりやすく伝える事が出来るようになった。

- 2) ホームページ情報の更新がより素早く行う事で情報の鮮度を保つことが出来た。

- 3) 正会員のHP掲載数を増やす事ができた。

- 4) 「JCD関東支部のホームページ」と「JCD関東支部のFace bookページ」のリンクを強化する事が出来た。

- 5) 「JCD関東支部 Face bookページ」にてイベントの立ち上げを行う事で素早い告知とリマインド機能にてイベント参加への誘導がスムーズになった。

- 6) 「JCD関東支部 Face bookページ」にトクトークなどの関東支部としての活動内容及び情報のアーカイブとしての機能を持てるようになった。

■交流委員会：折原美紀委員長、窪田茂副委員長、雲野一鮮副委員長、村上敦委員

- 1) 8月3日 夏のパーティーを渋谷クォーツタワー11、12階にて開催。来場数113名。毎年夏はセミナーやトークショーを開催している。

今回は「活躍する女性建築家・デザイナーのフォーカス」と題して、建築家の永山祐子さん、正会員でもある内山敬子さん、そしてナビゲーターとして折原が務め、登壇いただいたこのお二人に共通するのは、家庭を持ちながら第一線で活躍していること。

「一体どのような毎日を過ごされているのであろう」という興味から普段のトークショ

一にはない、私生活・仕事・子育てなどについて語って頂いた。またこのテーマは新しく発足した本部事業、交流委員会の活動の一端「女子会」プロログとした。

- 2) 12月13日 冬のパーティーをパセラリゾーツグランデ渋谷 B2F Zeal で開催。
来場数 129 名。恒例のバンド大会とした。昨年はバンド数も多く、懇親時間が足りないとの意見も頂いたため、毎年参加頂いている賛助会員の奥バンドと正会員の JCD バンドの 2 バンドが演奏を行ない大変盛り上がった。

■特別委員会：星明臣委員長

- 1) 今期の支部研修旅行は、10月15日～17日(2泊3日) 9名の会員の参加を得、催行。
目指すは、北海道・旭川。20世紀、北欧の優れたデザイン家具や美しい日用品のコレクター・研究者：織田憲嗣氏邸を訪れ、「Oda World」をたっぷり満喫。
翌晩は札幌。北海道支部の皆様との懇親・交流会…たっぷり満喫したことは、申し上げるまでもございません (JCD Kanto designers 最新号にレポート掲載)

④中部支部 (支部長：不破淳二)

5月

- 「JCD 平成 28 年度定時総会、第 1 回臨時理事会」
 - ・ 5月27日(土) /沖縄総会、理事会の開催 糸満市サザンビーチホテル
不破、丹羽、鳥居、西川、神谷、の5名の会員が中部支部より参加。
- 5月28日(日) /沖縄オブショナルツアー参加 (有志)

6月

- 「JCD 中部支部総会&第1回支部会議」
 - ・ 6月15日(木) /矢場町、サニー(32)オーチャード 4階 バンケットルーム
- 長谷川理事長出席にて JCD 基本方針説明、沖縄総会、理事会の報告 懇親パーティ

7月

- 「JCD 臨時活動」 SODA 開催に向けて
 - ・ 7月19日(水) /中区、松原小学校 教頭先生訪問。(現地集合)
- 本部より新藤 SODA 委員長に来ていただき SODA 事業の説明をしていただく。
不破、丹羽、中川 3名同行にてワークショップの日取り決定と準備作業について協議。

8月

- 「JCD 第2回支部会議」 ・8月29日(火) /ナディアパーク 7F ラボ2号会議室
 - ・ SODA 事業の準備作業の確認および支部アワードの詳細内容協議。要項書作成。
- デザイントリプレックス 14 (JCD, DSA, SDA /3 団体) 開催の準備委員会発足 会議
 - ・ 8月24日(木) /ナディアパーク 7F ラボ2号会議室

9月

- 「JCD 第3回支部会議」 ・9月26日(火) /ナディアパーク 7F ラボ2号会議室
 - ・ SODA 事業実施当日のスケジュール確認、賛助会員各社のマテリアル搬入送付の確認、

参加メンバーの最終チェック等を協議。

10月

- デザイントリプレックス14 (JCD, DSA, SDA /3 団体) 開催の準備委員会会議
 - ・ 10月3日 (火) /ナディアパーク 7F ラボ2号会議室
 - ・ エキシビションの場所設定、基調講演セミナーの講師候補の選出、等協議。
- 「JCD 中部支部 SODA 事業実施」
 - ・ 10月10日 (火) 松原小学校 前日訪問挨拶および実施会場の準備、マテリアル等準備。
 - ・ 10月11日 (水) SODA 事業ワークショップ開催 (am8:20~pm15:00) 授業 後片付け。
- 10月24日 (火) デザイントリプレックス14
 - ・ エキシビション会場、セントラルギャラリー (セントラルパーク事務所、挨拶打合せ)

11月

- メッセナゴヤ2017 なんでも無料相談コーナー /11月8日 (水) ~11日 (土) 亀井会員参加
 - 「それはデザイナーに聞け」 名古屋商工会議所+CCDO 中部デザイン団体協議会
- 「JCD 第4回中部支部会議」 11月9日 /ナディアパーク 7F ラボ2
 - ・ SODA 報告、支部アワード準備関係の協議、事務局開設等の報告
- 11月10日 (金) 「JCD デザインアワード2017 贈賞式」 出席 信濃町、明治記念館
- 「JCD 臨時理事会」 11月12日 (土) /東京、五反田デザインセンター8階
 - ・ JCD 新本部事務所 (移転後初開催)
- デザイントリプレックス14委員会 11月14日 (木) /ナディアパーク 7F ラボ2
 - ・ 来年開催のシンポジウムに迎える講演者の人選を協議

12月

- CCDO (中部デザイン団体協議会) 中部デザイン協会セミナー 12月2日 (土)
 - /ナディアパーク 4F セミナールーム
- デザイントリプレックス14委員会 12月18日 /ナディアパーク 7F ラボ2会議室

30年 1月

- CCDO (中部デザイン団体協議会) 理事会 1月17日 (水)
 - /ナディアパーク 7F ラボ10会議室 /委員会、各協会、活動報告
- CCDO (中部デザイン団体協議会) アワード応募 (JCDから正会員の中川氏を推薦)
- デザイントリプレックス14委員会 1月23日 /ナディアパーク 7F ラボ2会議室

2月

- 2月3日 (土) JCD 中部支部北陸デザインイベント 「空間デザインシンポジウム」 開催
- デザイントリプレックス14委員会 1月23日 /ナディアパーク 7F ラボ2会議室
- デザイントリプレックス14開催 ・エキシビション :2月27日 (火) ~3月5日 (月)
 - ・ 「日本のデザイン賞展2017」3協会受賞作品 約80点展示
 - JCD DSA SDA /セントラルギャラリーにて

- デザイントリプレックス14 ・シンポジウム :3月2日(金) 能作プロジェクトメンバー

講演者 「小泉誠、立川祐太、広谷純弘、水野佳史の4氏による講演」

/栄ガスビル5階(キングルーム) 約110名参加

- デザイントリプレックス14 講演後 「OWLあうる」にて懇親会パーティ 約40名参加

3月

- 「JCD 臨時理事会」 3月17日(土) 東京
 - ・デザイン賞委員会より、DSA とのデザインアワード共同開催についての決議他
 - ・h29 年度活動報告、h30 年度活動計画、収支報告 etc
- CCDO (中部デザイン団体協議会) 3月17日(土) アワード表彰式

⑤ 関西支部 (支部長: 中村裕輔)

活動方針「検討から活動の年へ」

- ・新規イベントの開催3件
- ・会員システムの刷新
- ・Facebook の充実と更なる活用
- ・SODA 事業の拡大
- ・大学・学生との関係の強化
- ・他団体との連携強化

4月8日 学生向けセミナー「履歴書を書く前に」開催: 上本町「銭屋カフェ」
(セミナー・ポートフォリオアドバイス会・懇親会)
参加者 58 名(学生 34 名、引率 1 名、一般 2 名、ゲスト 9 名、スタッフ 12 名)

6月19日 支部集会開催 (賛助会員 PR 会・懇親会): カフェシャルボン
賛助会員展示会 (セミナー・PR 会・懇親会) 参加者 62 名

7月20日 賛助会員バーベキューパーティ : 中之島カーブウィークス
参加者 31 名 (13 社 26 名 正会員 27 名)

7月29日 SODA 事業 住まい情報センター タイアップ事業
「こどもたちと創る商店街」参加 56 名(子供 29 名、保護者 27 名)

10月20日 関西学生シンポジウムの開催 : 高麗橋 BLACK BOX
(4 団体共催) 5 大学の参加 来場者 88 名

11月11日 「等身大のデザインワーク」開催: ホテルカンラ京都
(トークセッション・ショートプレゼン・レセプションパーティ)
参加 65 名

12月7日~11日 4 団体連合 「日本の空間デザイン展」: グランフロント大阪 KOIZUMI 照明
SR。来場者 88 名

12月8日 クリスマスイベント 開催: 西長堀細野ビル

(賛助会員コラボ展示・トークセッション)

参加 57 名(正会員 12 名、一般 23 名、学生 1 名、賛助会員 21 名)

賛助コラボ展示 8 社 4 組、単独展示 5 社

その他 デザインセンター大阪「SENBA サロン」への協力(年間 5 回)

⑥中国支部(支部長:深田勝哉)

中国支部では、本年度事業計画通り「デザイナーが活動するための環境創り」をテーマに活動してきました。

若手デザイナーたちが活動しやすい支部創りを目指し、デザイナーと地域との交流の場創り、デザイン会議、デザインセミナー、支部デザインアワード、デザイン研修など様々な活動を通して、支部に関わるデザイナー・賛助会員にとって活躍しやすい支部として活動してきました。

29 年度活動報告

5 月 29 年度支部総会 事業報告・新年度事業計画発表・新組織発表 15 名参加(岡山)

5 月 29 年度定時総会 沖縄への参加 中国支部より 6 名の参加

6 月 第 1 回支部例会 総会報告、ミニセミナー(ミラノサローネ報告) 15 名参加(福山)

8 月 第 2 回 J C D 中国支部例会&ビアパーティー 14 名参加(広島)

10 月 第 3 回 J C D 中国支部例会&デザインツアー福山 6 名参加(福山)

福山の有名建築物(新勝寺・洗庭・含空院・リボンチャペル・常石造船社宅・U2 等)を巡り鞆の浦沖にある走島の民宿太進館にて懇親会、楽しくデザインを巡る旅でした。

11 月 広島デザインデイズ 11 月 11, 12 日 (広島)

支部の中心的事業である、「広島デザインデイズ」を地元との交流、そして広島を中心とするデザイン団体、建築・デザイン系の大学・専門学校、地元商店連合会など参加者を増やし地元根付いたデザインを中心とした交流の場活にしたいと考えます。

7 月 広島デザインデイズ 2017 第一回準備委員会 (広島)

8 月 広島デザインデイズ 2017 第二回準備委員会 (広島)

9 月 広島デザインデイズ 2017 第三回準備委員会 (広島)

10 月 広島デザインデイズ 2017 第四回準備委員会 (広島)

12 月 中国支部 大忘年会・支部例会 をメキシカンバル by タコスタイルにて開催(岡山)

3 月 中国支部「鍋塾」を香川県直島町にて開催岡山・広島・東京から多数参加(香川)

鍋塾にて支部役員により 30 年度事業計画の検討会議

⑦四国支部（支部長：長尾勝彦）

2017年四国支部活動報告、第2回 SHIKOKU デザインフュージョンが4団体合同にて無事開催、また第3回 SHIKOKU デザインフュージョンに向け実行委員会が開催できたこと、財団法人川島猛アートファクトリー公開アトリエ準備等膨大な芸術アート作品に関わられたこと、沖縄定時総会には支部から8名にて参加、JCDからの推薦で寒川徹司氏国土交通大臣賞受賞、お祝い会開催でき、また賛助企業 TOTO 様、おかげ様で100周年記念セミナーパーティを開催でき、遠藤照明様がバスチャータまでしていただき大阪ライティング研修ができたことなど、他団体との交流、JCD各理事との交流、芸術アート、専門学校デザイン展後援、企業とのコラボによる企画などたくさんの方が実現できました。今後も参加者が増える楽しい支部へ考えていきたいと思っております。

「下記活動内容は JCD 四国支部 HP に掲載されております。」

2017年活動報告

- 1月10日、 SHIKOKU デザインフュージョン実行委員会
- 1月21~23日、 第2回 SHIKOKU デザインフュージョン開催、JCD, SDA, JIA, KDA 共同
- 1月23日、 賀詞交歓会、副支部長と二名にて参加
- 3月18日、 第一回理事会、各委員長、各支部長と意見交換
- 3月22日、 3月ランチ会議、ミケイラにて開催
- 4月1日2日、 財団法人川島猛アートファクトリー公開アトリエ参加
- 4月4日、 SHIKOKU デザインフュージョン実行委員会
- 5月26~28日 沖縄定時総会開催、8名にて参加
- 6月14日、 SHIKOKU デザインフュージョン実行委員会
- 6月16日、 6月例会 AGORA にて開催
- 7月22日、 瀬戸のサンセットクルージング開催
- 9月2日、 寒川徹司氏の国土交通大臣受賞お祝いの会開催
- 10月13日、 10月例会 JCD+TOTO おかげ様で100周年セミナーパーティ開催
- 11月10日、 JCD デザインアワード贈賞式明治記念館にて開催
- 11月3日4日、 財団法人川島猛アートファクトリー公開アトリエ参加
- 12月15日、 12月例会 JCD, SDA 合同忘年会
- 12月27日、 SHIKOKU デザインフュージョン実行委員会

2018年

- 1月17日、 賀詞交歓会ガレリアホールにて開催
- 2月2日、 2月例会新年会韓国料理金魚にて開催
- 2月2~4日、 専門学校穴吹デザインカレッジデザイン展18後援
- 2月22日、 JCD+遠藤照明大阪ライティング大阪研修
- 3月1日、 SHIKOKU デザインフュージョン実行委員会

⑧九州支部（支部長：原田啓二）

(1) 業務委員会

○月例会の開催（毎月第三金曜日/大光電機会議室）

月例会は賛助会員にも参加いただき、会議の冒頭に商品 PR やイベント案内などをいただきました。例会終了後には飲食店に移動しての懇親会を行ない大変盛り上がり又、会員間の情報交換の場として上手く活用しました。

○デザインスクールキャラバンの開催（11月/南当仁小学校5年生）

今回で19年目となるデザインスクールキャラバンですが、テーマは、「ぼくたちの住み良い街」です。今回も事前授業行い、新しい街のコンセプトづくりや街づくりのルールなどを決め、デザインすることの楽しさなどを全員で共有する授業となりました。

○FUKUOKA デザインリーグ運営会議の参加（毎月/九州大学大橋サテライト）

FUKUOKA デザインリーグの団体会員として運営会議に参加し、これからの取り組みや今後のあり方などについて意見交換をしました。リーグも法人化をして10年となり新規事業案もあり JCD との関わり方など支部内で検討中です。

(2) 交流委員会

○ビアパーティの開催（7月/マリノア THE BLUE）

7月の月例会は賛助会員とビアパーティを行い、沢山の参加をいただきました。「ビールと JCD は最強コンビ」をテーマに、楽しい暑気払いとなりました。

○有田陶芸体験イベント開催（10月/有田大乘窯）

毎年恒例の陶芸体験ですが、今回も有田焼大乘窯さんのご協力をいただき、参加者全員発想豊かな一流陶芸家となり作品作りに没頭しました。

○デザインアワードパネル展の開催（11月/パナソニックショールーム）

パナソニックショールームをお借りして、SDA 合同のデザインアワードパネル展を1週間行いました。会場の立地もよく、入場者数も増えました。

○忘年会（12月/博多表邸）新年会（1月/第8八千代丸）の開催

忘年会や新年会は賛助会員も沢山参加いただき、盛大に盛り上がりました。

会員間のコミュニケーションも深まり、情報共有とモチベーションを上げる大変良い宴となりました。

(3) 広報委員会

○支部の Facebook や Instagram を始めました。会員増強のためにも SNS を利用し支部活動をわかりやすく発信したいと思っています。運営方法などまだまだ模索中です。

<総評>

九州支部活動の柱であるデザインスクールキャラバンも19年を迎え、毎回高い評価を頂いています。これらを通して JCD の知名度も少しずつ拡大し、会員も若干ですが増強しました。交流活動は毎年定例化していき、参加者も増え良いコミュニティの場となりました。今後も継続

して行いたいと思います。広報活動で始めました SNS などはまだまだ課題もあり、会員拡大のための良いツールとして有効活用できるよう今後に期待しています。

⑨沖縄支部（支部長：山里健市）

- H29年4月 ◇支部定例会の開催
今年度の活動計画について 各委員会との意見交換
沖縄総会へ向け最終打合せ・各手配・調整など。
- 5月 ◇JCD 総会in沖縄の開催。26日 前日講演会、27日 定例理事会・定時総会・懇親会、28日は3班に分かれてのオプションツアー開催。大きなトラブル、事故もなく無事終了致しました。
正会員・賛助会員・関係各社の皆様 有難うございました。
- 6月 ◇支部定例会の開催
総会慰労会の開催
各委員会活動報告
- 8月 ◇支部定例会の開催
各委員会活動報告
- 9月 ◇ビーチタワーホテル 1F バーベキューテラスにて「JCD 沖縄支部 夕涼み BBQ」を開催。正・賛助会員、建築設計、メーカーや 施工会社など 約60名参加。さまざま意見交換や JCD の活動等を知ってもらう事を目的とし滞りなく終了しました。
- 10月 ◇支部定例会の開催
各委員会活動報告
◇コンベンションセンターにて開催される「トータルリビングショー」へ参加。インテリア産業協会のブースにて JCD 沖縄支部は
来場者の子供達を対象に店舗模型を製作。3日間で ≒100組の
来場があり、継続したイベントとして定着しています。
- 12月 ◇支部定例会の開催
◇JCD 沖縄支部 忘年会(モノズクリガンバッタ 2017) の開催。
建築・インテリア・グラフィックというカテゴリーを設け、≒80名の
方々が参加。1年を振り返ると共に、デザインコミュニティの場（忘
年会）として定着しています。
- 2月 ◇支部定例会の開催
◇SODA ワークショップを 西原東小学校にて6年生を対象に児童数 80名、
16グループに分かれ、「ドリームショップを作ろう！」というテーマにて
開催。本部から2名、インテリアコーディネーター協会、インテリア産業協
会、建築士会からも講師として参加頂き、無事 終了しました。地元紙 2紙

にも取材して頂き、次年度の活動にも繋がりました。

3月 ◇定例理事会

◇SODA Mtg

総 評

29年度は、全国定時総会の開催地という事で SODA ワークショップについては、1回しか開催できませんでした。

しかし10月のトータルリビングショーで行う「子供達とのミニチュア模型づくり」は4回目の参加となり、JCD各会員も慣れてきており、来場者のブース認知度も上がってきております。

交流・イベント事業としては、企画・実行レベルも向上し、固定イベントも

定着してきましたので、JCDの認知度をあげながら、正・賛助会員の入会へも繋げていきたいと思っております

(3) 総務部 (部長：太細 通)

①財務委員会 (委員長：太細 通)

今年度の事業活動収入合計は、昨年度に比べ会費収入では正会員が約80万円弱、約5%の増収、賛助会員は全国、支部とも増加し約180万円強、約16%弱の増収、合わせて約260万円、約11%の増収となりました。また事業収入は沖縄開催に伴い総会収入が大幅に増加、設計奨励事業収入も応募が大幅に増え、また機関紙 SHOKANKYO への賛助会員の広告協賛いただき、約60万円の増になりました。

結果、事業活動収入合計では昨年度決算額より約320万円増、予算に対しても約420万円増の約4,260万円になりました。

事業活動支出合計は、昨年度に比べ事業費支出ではセミナー育成費が活動をまとめた本の出版により約110万円増、総会費が沖縄開催に伴い約100万円増、研究会費が活動の活性化で約50万円増、広報費が機関誌の発行増で約30万円増、一方研修会費、展示会費が合わせて約200万円減であり活動減は反省すべき点である。管理費支出では移転に伴う備品購入で約80万円増、旧事務所の原状回復費に修繕費が約30万円増、通信運搬費はメール便等の値上がりにより約70万円増、総会の沖縄開催に伴い旅費交通費が約50万円増、一方万円減、会議費が約30万円減となりました。一方、移転にともない事務所の賃借料・光熱費で約30万円減となりました。

結果事業活動支出合計では昨年度決算額より約470万円増、予算に対しても約370万円増の4,084万円となりました。

また今期は移転に伴う、敷金の戻りと新規支出及び固定資産支出で投資活動収支差額が約70万円の赤字となりました。

以上より、収支差額は昨年度決算額より約 220 万円減、予算に対しても約 30 万円減となりましたが約 110 万円の黒字を確保できました。

本部及び 9 支部を個別にみますと、8 支部は黒字を確保できました。本部は移転に伴い、関西支部は事業活性化により若干の赤字となりましたが前期繰越収支差額でカバーできました。しかし関西支部は次期繰越収支差額が当期事業活動支出計の 12.2%しかありませんので、累損にならないためにも今期は厳しい予算管理が必要となります。

一般社団法人への移行 5 年度目としては、全体的に良い結果となりました。

②功労者選考委員会（委員長：星 明臣）

委員間で相互にメールで意見交換し検討を重ねてきたが、本日理事会に先立って平成 30 年度功労者選考委員会を開催した。

1. 委員会メンバー 出席者 大熊俊隆/監事、小田秀樹/理事・寒川徹司/評議員・太細 通
/専務理事・山田 悦央/評議員・星 明臣/委員長
奥平与人/評議員・小坂 竜/副理事長は欠席

2. 結果

1) JCD 特別功労賞

関東支部長推薦/大道寺祥司会員
を JCD 特別功労賞に推挙する。

2) 支部功労賞

- ① 東北支部長から支部功労賞に推薦があった菊池 仁会員は承認。
 - ② 中国支部長から支部功労賞に推薦があった脇本純治会員は承認。
- 支部功労賞の推挙は以上 2 名。

3) 名誉会員

九州支部から名誉会員に推薦があった金子洋伸会員は協議の結果、推挙を見送り。
尚、選考基準に関し、定款や施行細則に表記されているが、明確さを欠くとの意見があり、委員会で、審議した。結果、一層の明瞭化を図るべく継続審議を行う。

4) 顧問、参与 ①新任 なし

②留任 顧問 中部支部/林 英光、堀越哲美
参与 四国支部/永見真一

5) 評議員 ①関東支部/大道寺祥司会員を、新たに、評議員に推挙する。

②現評議員 16 名は全員留任。

6) 建設事業関係功労者表彰

昨年度、候補者として推薦しました、寒川徹司会員（四国支部・評議員）が、7 月 国

交省大臣表彰を受けることが出来ました。

今年度も、新藤 力会員（関東支部・理事）を候補者として推薦しております。

「国交省大臣表彰」については、継続的に、候補者を推薦していきたいと考えております。

7) 黄綬褒章

昨年度杉本名誉会員を黄綬褒章候補者として推薦しましたが、JCD が業界をリードする団体として承認されず、現在は所管の建築指導課からの提出資料の指示待ちの状況です。

3. その他会務に関する事項

(1) 会務などの状況

総会（2回）

平成 29 年度定時総会

期日：平成 29 年 5 月 27 日 会場：サザンビーチホテル&リゾート

社員出席：236（内委任状 24、議決権行使 154）名

平成 29 年度第 1 回臨時総会

期日：平成 29 年 11 月 11 日 会場：東京デザインセンター8F

社員出席：282（内委任状 1、議決権行使 255）名

理事会（3回）

第 1 回定例理事会 期日：平成 29 年 5 月 27 日

会場：サザンビーチホテル&リゾート

出席理事：19 名

第 2 回定例理事会 期日：平成 29 年 11 月 11 日

会場：東京デザインセンター8F

出席理事：20 名

第 1 回臨時理事会 期日：平成 30 年 3 月 17 日 会場：東京デザインセンター8F

出席理事：20 名

(2) 関係団体や機関との交流、事業への協賛など

空間デザイン機構（(公社)日本サインデザイン協会、(一社)日本空間デザイン協会、(一社)日本ディスプレイ業団体連合会と共同）において、活動に担当を派遣し企画、JAPAN SHOP 2018 に参加した。また、商業施設技術団体連合会「第 15 回主張する「みせ」学生デザインコンペ」、NPO ユニバーサルイベント協会「ユニバーサルキャンプ in

八丈島」、日本インテリアプランナー協会「インテリアプランニングコンペ2018」、カフェ・喫茶ショー実行委員会「Tokyo Cafe Show & Conference 2017 -カフェ・喫茶ショー2017-」、ビジネスガイド社「第85回東京インターナショナル・ギフト・ショー春2018」、関西インテリアプランナー協会「KIPA第1回デザインコンペティション2017」、修成建設専門学校「卒業展」、中川ケミカル「第20回CSデザイン賞」等への後援や、日本能率協会「第42回日本ショッピングセンター全国大会」、近畿屋外広告美術組合連合会「SIGN EXPO 2018」、日本経済新聞社「JAPAN SHOP 2018」「建築・建材展2018」「LED NEXT STAGE 2018」、日本能率協会「第46回国際ホテル・レストランショー」等への協賛を行った。

4. 会員の移動状況

	28年度期末	年度内増	年度内減	29年度期末
正会員	406名	35名	20名	421名
賛助会員	140社	32社	6社	166社
名誉会員	12名	0名	2名	10名

5. 正会員の資格喪失に関する事項

定款第9条（資格の喪失）による、本年度の正会員資格喪失者は次の22名である。

・退会申し出による者 20名

(東北支部) 佐々木秀則、佐藤 勉

(関東支部) 上野鐵也、上原正人、大石敬太、大橋正明、小倉陽一、梶浦 厚、河合優吉、
滝田勝之、中路 一、松岡國夫、宮里貴司

(中部支部) 舟木間道

(関西支部) 大森貴夫、要 信行、羽原清明

(中国支部) 栗栖海記

(四国支部) 清水康弘

(九州支部) 児玉正樹

・会費未納による者 2名

(関西支部) 佐藤史仁

(沖縄支部) 福島正人